

自転車

健康志向、エコ対策、今、自転車利用が広がっている。さまざまな地域で自転車道が整備されつつあり、通勤や通学、買い物といった日常的な移動手段に加え、観光ツールとしての存在感が高まっている。堺市の産業を代表する一つが、この自転車の生産だ。

自転車はドイツで生まれた。日本に伝わったのは江戸時代末期。明治期に国産化が始まり、需要が広がった。第一次世界大戦で欧洲との貿易がストップすると、堺では機械金属の加工技術を受け継ぐ鉄砲かじ職人たちが自転車の修理や部品の供給に力を発揮した。これにより堺市内に自転車の生産拠点が形成された。

この数年、国内では低価格な中国製品が国産品を圧倒してきた。そこで堺の自転車メーカーはパンクしないタイヤを採用した自転車(ノーパンク自転車)を市場投入するなど高付加価値製品で対抗している。堺市は自転車を重要な産業と位置づけ、通勤・通学用の自転車を提供する「さかいコミュニティサイクル」事業などを展開。利用促進による活性化を進めている。さらに地場産業を積極的に応援しよう、小学校の見回りに自転車部隊を創設するなど地域レベルの草の根的な動きも出てきた。

全国的には人を原動力とする自転車にそのぬくもりを期待するイベントがある。6月1日から開かれる東日本復興支援サイクリング「CYCLE AID JAPAN2013」。東日本大震災の被災地を自転車で巡り、参加者の発信力で観光客を呼び戻そうという応援イベントだ。

タオル

泉州地域のタオルは製織後に漂白や染色を施す「後ざし」と呼ばれる技術を採用している。製織前に漂白・染色する他地域の「先ざし」に意匠性は及ばないが、泉州タオルは高い吸水性など機能性に優れ、独特の魅力を備える。

泉佐野市は国産タオル発祥の地として歴史的に有名だ。1887年(明治20年)に佐野村(現泉佐野市)の白木綿業者だった里井圓治郎氏が織物表面の糸を輪状に織り込んだバイル地製織法の開発に成功し、タオルの生産が盛んになったと言われている。その後、泉南市など泉州南部に生産業者が集まり、全国でも有数の地場産業へと成長した。

国産タオルは高品質だが、国内流通の大半は中国などの海外製品が占める。そこで大阪タオル工業組合(大阪府泉佐野市)は泉州産タオルの地域ブランド「泉州こだわりタオル」を立ち上げ、新たな消費者層の開拓に力を入れている。地元企業のオリジナルタオルを同ブランドに認定し、展示会も積極的に開いてアピールを強める。

こうしたブランド化の取り組みの成果から、今月31日まで泉佐野市のブランドアウトレットモール「りんくうプレミアムアウトレット」に「泉州タオル館 りんくうプレミアムアウトレット店」を構えることになった。このショップを通じ、一層の知名度向上を目指す考えだ。

ワイヤロープ

南大阪・泉南地域は国内有数のワイヤロープ産地だ。貝塚市や泉佐野市を中心にメーカーが数多く集まっている。ワイヤロープはクレーンやエレベーター、ロープウェー、造船など幅広い分野で使われる。吊り橋などの構造物、土木建築などにも利用され、国土開発において重要な役割を担ってきた。

近年、ワイヤロープ市場もほかの業種と同様に海外製品の流入に苦慮してきた。特に中国や韓国、台湾から入ってくる製品との競争は激しくなるばかりだ。こうしたアジア諸国との競争に対抗するため、国内メーカー各社は新製品の開発に力を注いでいる。作業時の扱いやすさを考慮し、ロープにしなやかさを与えた製品など高機能製品の投入によって新たなユーザーの獲得を狙っている。

さらに製品ラインアップを戦略的にそろえ、短納期化を推進。品質保証やアフターサービスなどソフト面も強化するなど、日本のメーカーらしい強みを前面に押し出して差別化を進めている。ユーザーに寄り添うメーカーの姿勢を鮮明にすることで海外製品に反転攻勢をかけている。

刃物

包丁やはさみなどの刃物も堺の伝統産業として業界団体や行政が普及に力を入れている。軟鉄と刃になる鋼を接着した母材から打つ独自製法の「堺打刃物(さかいくちはもの)」は片刃で研ぎやすいのが特徴だ。鋼部分が生きていれば、20年は優に使えるという。現在も職人が1本ごとに手作りで仕上げており、柄には経済産業大臣指定伝統的工芸品であることを示す「伝統マーク」のシールが貼られる。

旬の食材に合わせ、数100種類はあるという堺打刃物。ただ一流料理人に愛される和包丁は、外食産業の変革により洋包丁に取って代わってきた。家庭でもステンレスやセラミック製品の需要が増え、市場は縮小傾向。後継者の育成もままならないのが実情だ。

一方で昨今は和包丁が海外で注目を集めている。堺市は11年に食品に関する伝統・地場産品の海外販売を支援する組織「堺食品海外セールス実行委員会」を開設。堺市や堺刃物商工業協同組合連合会(堺市堺区)の加盟企業などで構成し、アピールを強めている。11年度に続き、12年度もシンガポールや米国の国際展示会に参出、日本食とセットで海外需要の喚起を狙った。

堺市はこうした海外への販路開拓支援を力強く推進し、後継者難など課題の多い刃物産業の活性化に取り組む。国内では「堺伝統産業会館(堺市堺区)」を拠点に刃物を中心とする伝統産品の啓発を行うとともに製品を販売。昨年、インターネットショッピングモールも立ち上げ、振興を図っている。

線香

線香も堺の伝統産品であり、業界を代表する老舗メーカーが堺市内に拠点を置いている。線香の歴史は古く、日本における生産は16世紀末ごろに始まったといふ。堺に線香文化が根付いたのは、貿易が盛んな土地柄で原料が入手しやすく、京都や奈良について寺院が多くあったことが理由と考えられている。

堺の線香は柏(たぶ)の皮に沈香や白檀など天然素材を粉末にして15~20種を調合して作り上げる。生産量は、第二次世界大戦前に全国シェアの約60%にまで拡大したが、空襲によって打撃を受け、トップの座を譲った。それでも先駆者をつけた土地柄だけあって、堺には創業100年を超える線香メーカーが少なくない。

長い歴史を持つ業界だが、最近は新しい動きも目立つ。コーヒーの香りを取り入れた線香やアロマセラピー向け線香など新市場に足を踏み出している。さらに米国やアジアなど海外市場の開拓に乗り出そうとする企業もある。若い経営者が中心になり、線香需要の拡大と知名度アップに力を入れている。線香産業は古さと新しさをミックスした新たな方向で生き残りを目指している。

ベアリング

自動車や産業機械、ロボット、あらゆる分野で使われる軸受(ベアリング)は「機械産業の米」とも呼ばれる。国内のベアリング産業は大正後期から昭和初期にかけて基盤を確立した。機械の可動部には欠かせない部品ということもあり、南大阪地域でも堺市を中心に地場産業として発展してきた。

この地域にベアリング産業が根付いた背景には、古くから鍛冶技術に優れていたという歴史的な経緯がある。さらに堺の代表的な産業である自転車の生産で大きな需要があったことも理由に挙げられる。

南大阪には中堅ベアリングメーカーが多く、各社とも大手に負けない独自技術の創造、展開で高品質製品の供給に努めている。独自性も豊かで、ベアリングとハウジングと呼ばれる固定用金具を組み合わせた軸受ユニット「ピローブロック」は、堺の企業がいち早く製造販売に着手した。ピローブロックは今も機械設備全般に広く利用される部品で、堺のメーカーも業界をけん引する役割を担っている。

SHIMANO



「安全」と「安心」。

世界の人々に、本当に安心して乗れる自転車機能をお届けしたい。

製品における品質や性能は、「安全な物」であるとともに、使うことへのストレスを解消してくれる「安心できるモノ」でなければなりません。シマノ LEDオートライトシステム。LEDだから電池切れなどの走行中のトラブルがほとんどなく、ドライバー・歩行者からの視認性も優れています。

毎日乗るものだから――シマノ LEDオートライトシステム。

あらゆる
部分品をつくる
<http://www.k-n-k.co.jp>
E-mail: knk@k-n-k.co.jp

KNK 線川ネジ工業株式会社
〒590-0006 大阪府堺市堺区錦鏡町2丁2番11号
☎072-238-5001代・FAX072-238-5003



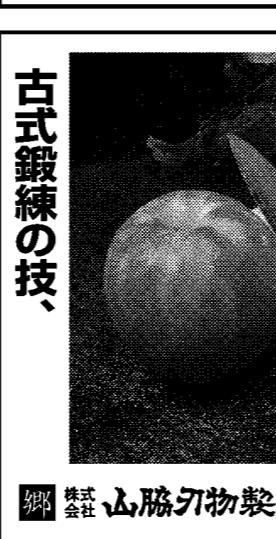
自転車のまち堺から

武田自転車株式会社
〒590-0943 大阪府堺市堺区東之町2-2-8
TEL072-238-8401 FAX072-228-1178
ホームページ <http://www.takedabicycle.co.jp>



創業文化二年
堺刀司

堺打刃物製造卸
庖丁・鉄・台所用品



「貸会場施設」のご案内

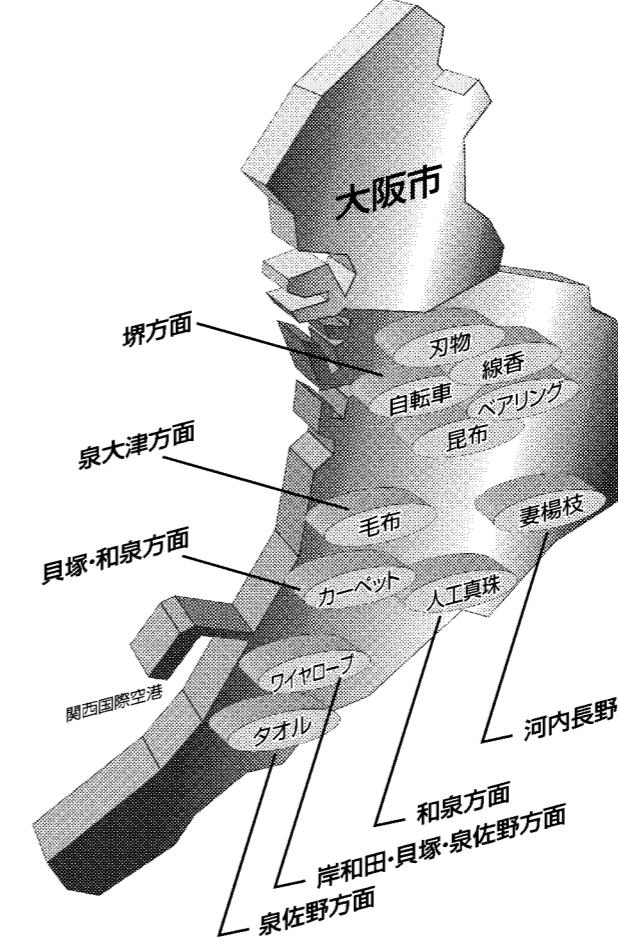
展示会、見本市、講演会、研修会、会議等の会場をお探しの方は、お気軽に当センターへ!

イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大小会議室・セミナー室、小ホール等14会場をご用意しています。

インターネットに接続したパソコンから、堺市施設予約システム(センターホームページからリンクしています)を通して、施設の空き状況の確認ができます。携帯電話からもご利用できます!

公益財団法人 堀市産業振興センター
TEL:072-255-0111 FAX:072-255-3570
〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5 <http://www.sakai-ipc.jp>
[交通アクセス]南海高野線・東北高速鉄道・地下鉄御堂筋線・なかもず駅から約300m
[駐車場]約230台(無料)できる限り電車をご利用ください。

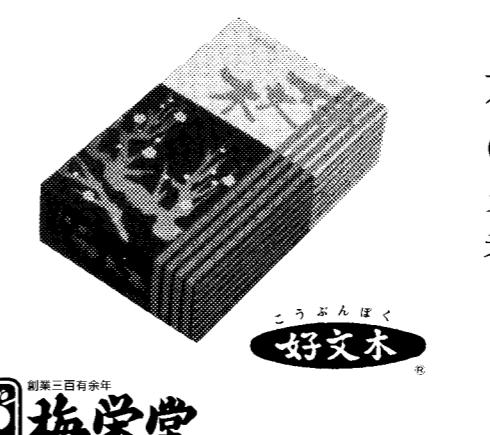
南大阪の主な地場産業



堺打刃物司

刀匠一竿子忠綱 本舗

有限会社 永田 刀 物
本社 〒590-0953 大阪府堺市堺区甲斐町東1丁1番4号
TEL072(232)1132代 FAX072(222)1948
工場 〒590-0930 大阪府堺市堺区柳之町西3丁8番3号



ASAHI 産業機械を支える

バリエーションに富む商品

玉軸受 ユニット エアクランチブレーキ 直線運動機器

●標準品から特殊品まで ●小型から大型まで ●用途に応える豊富な機器



歴史と品質で世界に誇る
南大阪の地場産業